

臨床検査の保険適用について

区分E3（新項目）（測定項目が新しい項目）

測定項目	測定方法	主な測定目的	点数
EGFRタンパク	免疫染色法 (酵素抗体法)	組織・細胞中のEGFR（上皮増殖因子受容体）タンパクの検出（悪性腫瘍診断の補助等）	690点

一 ○ 保険適用希望業者 ダコ・ジャパン株式会社

○ 参 考 点 数 N002 免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製 3 HER2タンパク 690点

保険適用希望のあった新規の検査項目の概要

○ EGFRタンパク

区分：E3（新項目）（測定項目が新しい品目）

測定内容：EGFRタンパク

主な対象：抗悪性腫瘍剤（抗ヒトEGFRモノクローナル抗体に係るものに限る）の投与患者

有用性：本品は免疫染色法を用い、EGFRタンパクの発現の判定に用いる。EGFRタンパクの過剰発現を呈する悪性腫瘍は予後不良を示し、またホルモン療法、化学療法、放射線療法において耐性を示すことなどが報告されている。近年、結腸・直腸癌に対する医薬品が保険収載されるなど、EGFRタンパクを標的とした薬剤の開発が進められている。本品を用い、これら治療薬の投与前にEGFRタンパクの発現の有無を検査することにより、投与薬の適応の判定や治療効果の低い患者に対する不適切な投与の防止が可能となる。

参考：EGFRタンパクとはヒト上皮増殖因子受容体（Epidermal Growth Factor Receptor）タンパクの略である。細胞膜を貫いた形で存在しており、血管新生誘導、細胞増殖促進、アポトーシス阻害などの作用を誘導する。